



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月5日

上場会社名 株式会社 栗本鐵工所
 コード番号 5602 URL <http://www.kurimoto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 串田 守可
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 総合企画室長 (氏名) 織田 晃敏
 四半期報告書提出予定日 2019年11月5日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6538-7719

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	49,785	3.6	956	69.8	983	53.1	396	126.1
2019年3月期第2四半期	48,073	1.3	563	64.9	642	56.4	175	83.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 448百万円 (37.4%) 2019年3月期第2四半期 717百万円 (58.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	31.65	
2019年3月期第2四半期	14.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	127,173	59,151	45.7
2019年3月期	136,469	58,867	42.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 58,148百万円 2019年3月期 58,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		30.00		30.00	60.00
2020年3月期		30.00			
2020年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	0.7	3,000	0.1	3,000	6.3	2,200	6.0	175.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	13,398,490 株	2019年3月期	13,398,490 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	863,180 株	2019年3月期	865,951 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	12,534,391 株	2019年3月期2Q	12,528,593 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式(2020年3月期2Q 36,116株、2019年3月期2Q 41,970株、2019年3月期39,043株)が含まれています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策などを背景に、雇用・所得環境の改善などで緩やかな回復基調が続いているものの、長期化する米国、中国との貿易摩擦、英国のEU離脱問題など依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、「機械システム事業」で出荷が減少したものの「パイプシステム事業」「産業建設資材事業」で出荷が増加したことにより、売上高は前第2四半期連結累計期間比1,711百万円増収の49,785百万円となりました。

損益面では、「機械システム事業」における減収の影響などがあったものの、「パイプシステム事業」「産業建設資材事業」の増収の影響などで改善し、営業損益は、前第2四半期連結累計期間比393百万円増益の956百万円の利益、経常損益は、前第2四半期連結累計期間比341百万円増益の983百万円の利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、特別損失として投資有価証券評価損の計上、台風被害による復旧費を前年に引き続き計上しましたが、営業利益が増加したこともあり、前第2四半期連結累計期間比221百万円増益の396百万円の利益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、鉄管部門で出荷量は前年並みであったものの、価格改定の影響などもあり売上高を押し上げたのに加え、バルブ部門でも、前年が低調であった海外向け出荷が回復基調にあることなどで、前第2四半期連結累計期間比585百万円増収の24,397百万円となりました。

営業損益につきましては、鉄管部門、バルブ部門の増収に加え、価格改定の影響、原材料価格が安定してきたことなどにより、前第2四半期連結累計期間比564百万円増益の491百万円の利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門で前年並みに推移したものの素形材部門で出荷が低調に推移したことなどで、前第2四半期連結累計期間比664百万円減収の10,640百万円となりました。

営業損益につきましては、素形材部門の減収の影響などで、前第2四半期連結累計期間比185百万円減益の112百万円の利益となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、建材部門で空調製品の出荷が堅調に推移したことなどで、前第2四半期連結累計期間比1,790百万円増収の14,747百万円となりました。

営業損益につきましては、建材部門の増収に加え、原価改善に注力したことなどにより、前第2四半期連結累計期間比126百万円増益の425百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、翌四半期以降の出荷に備え、商品及び製品、仕掛品などが増加した反面、債権の回収時期を迎え受取手形及び売掛金、電子記録債権が減少し、借入金の返済等により現金及び預金が減少したことで、前連結会計年度末比9,296百万円減少の127,173百万円となりました。

一方、負債におきましては、債務の支払時期を迎え支払手形及び買掛金が減少したことに加え、債権の回収増加により、借入金を返済したことで、前連結会計年度末比9,580百万円減少の68,021百万円となりました。

純資産におきましては、配当金の支払いで減少しましたが、四半期純利益の計上、非支配株主持分の増加などにより、前連結会計年度末比283百万円増加の59,151百万円となりました。

《キャッシュ・フローの状況》

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は3,392百万円となりました。これは主に売上債権の減少による資金の増加、仕入債務の減少、棚卸資産の増加による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,884百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は4,478百万円となりました。これは主に短・長期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,564	18,574
受取手形及び売掛金	39,297	31,548
電子記録債権	7,047	4,110
商品及び製品	9,346	11,466
仕掛品	6,682	8,490
原材料及び貯蔵品	2,625	2,660
その他	1,347	1,107
貸倒引当金	△137	△136
流動資産合計	87,774	77,821
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,773	13,773
その他(純額)	17,348	18,238
有形固定資産合計	31,121	32,011
無形固定資産		
その他	745	959
無形固定資産合計	745	959
投資その他の資産		
投資有価証券	10,328	10,094
その他	6,678	6,459
貸倒引当金	△178	△173
投資その他の資産合計	16,828	16,380
固定資産合計	48,695	49,351
資産合計	136,469	127,173

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,629	17,768
電子記録債務	13,288	9,692
短期借入金	20,255	17,020
1年内返済予定の長期借入金	2,111	2,058
未払法人税等	510	328
賞与引当金	1,677	1,559
その他の引当金	279	283
その他	6,576	6,928
流動負債合計	64,328	55,638
固定負債		
長期借入金	2,881	1,876
引当金	110	96
退職給付に係る負債	9,482	9,638
その他	799	771
固定負債合計	13,274	12,383
負債合計	77,602	68,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,880	6,870
利益剰余金	21,178	21,197
自己株式	△1,750	△1,746
株主資本合計	57,493	57,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,013	1,959
為替換算調整勘定	5	△17
退職給付に係る調整累計額	△1,442	△1,301
その他の包括利益累計額合計	576	640
非支配株主持分	797	1,003
純資産合計	58,867	59,151
負債純資産合計	136,469	127,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	48,073	49,785
売上原価	37,023	38,136
売上総利益	11,049	11,648
販売費及び一般管理費	10,486	10,691
営業利益	563	956
営業外収益		
受取配当金	163	155
その他	154	111
営業外収益合計	317	267
営業外費用		
支払利息	85	68
固定資産撤去費用	37	49
その他	115	122
営業外費用合計	238	240
経常利益	642	983
特別利益		
債務免除益	42	—
特別利益合計	42	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	209
災害による損失	217	90
事業再編損	151	—
その他	0	1
特別損失合計	368	300
税金等調整前四半期純利益	315	682
法人税、住民税及び事業税	215	218
法人税等調整額	△116	80
法人税等合計	99	298
四半期純利益	216	384
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	175	396

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	216	384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	318	△53
為替換算調整勘定	△15	△22
退職給付に係る調整額	196	141
その他の包括利益合計	500	64
四半期包括利益	717	448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	675	461
非支配株主に係る四半期包括利益	41	△12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	315	682
減価償却費	1,221	1,173
減損損失	0	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	△6
受取利息及び受取配当金	△166	△158
支払利息	85	68
売上債権の増減額(△は増加)	4,105	11,776
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,727	△3,966
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,400	△5,752
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	467	358
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	—	209
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△3	△6
有形及び無形固定資産除却損	10	15
債務免除益	△42	—
事業再編損	151	—
その他	△21	△803
小計	△28	3,591
利息及び配当金の受取額	227	209
利息の支払額	△84	△69
法人税等の支払額	△116	△339
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2	3,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	5	—
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△203	△34
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,252	△1,917
有形及び無形固定資産の売却による収入	6	23
貸付金の回収による収入	101	0
その他	△61	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,404	△1,884
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△550	△3,235
長期借入れによる収入	36	—
長期借入金の返済による支出	△1,058	△1,056
リース債務の返済による支出	△24	△17
自己株式の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	120
子会社の自己株式の処分による収入	—	98
配当金の支払額	△439	△377
非支配株主への配当金の支払額	△9	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,046	△4,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	△20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,443	△2,991
現金及び現金同等物の期首残高	23,134	21,507
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	350	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,041	18,516

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプ システム事業	機械 システム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	23,812	11,304	12,956	48,073	—	48,073
セグメント間の内部売上高 又は振替高	95	3	46	145	△145	—
計	23,907	11,307	13,002	48,218	△145	48,073
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△73	297	298	522	40	563

注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額40百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額△48百万円及び棚卸資産の調整額80百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプ システム事業	機械 システム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,397	10,640	14,747	49,785	—	49,785
セグメント間の内部売上高 又は振替高	116	103	64	285	△285	—
計	24,514	10,744	14,811	50,070	△285	49,785
セグメント利益	491	112	425	1,029	△72	956

注)1 セグメント利益の調整額△72百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額△127百万円及び棚卸資産の調整額47百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。